

第 893 回

クローズアップ

この会社のココに注目!

名古屋支店発

セイフラインズ (株)

(TDB企業コード 685048737)

(法人番号 5180002066455)

安全確保のプロ集団

高度成長期に建設された道路設備は50年以上経つものも多く、老朽化し痛ましい事故が起きかねない。造る・直すだけでなく「長寿命化計画に基づく維持管理、更新を推進する」ニーズが一層高まっている時代となっている。そんな社会インフラの維持管理に、現場の安全確保の面から安全・安心面に貢献する企業がこれからの時代求められるのではないか。「安全確保のプロ集団」として、豊かな知識と技術力を発揮し、「セイフティ (安全)」を守る会社、それがセイフラインズ (株) である。

(有) 大一から、そんな未来への決意を込めて令和2年4月に、現在の社名に変更した。

当社はセイフティコントロール事業として、日本全国の橋梁・トンネル点検に伴う交通規制計画立案および規制エリア設営・保安資材の設置、撤去業務、点検作業に伴う保安業務などを手掛けている。代表を務める大山氏が、日々の業務で強く重視するのはやはり最前線で活躍する「人材」とであるという。規制業務には、各自治体のルールを把握し、周辺環境や状況に応じた計画を立案する知識、臨機応変に保安資材を設置するリーダーシップや技術力が求められるが、柔軟な対応力を高めるスキル育成研究会、スピード・品質を高める新しい資器材のテスト、作業報告も兼ねた定例の「安全大会」の実施など、「人材」力を

**日本の道路の安全を守る**

高める社内教育にも余念がない。その結果、ただ指示通りの作業を行うのではなく、より安全で確実な規制を行うにはどうすれば良いかという視点で、提供された規制図面や規制方法にプラスαの提案を行うなど、顧客満足度を高めている点で同業者と差別化が図れているのかもしれない。さらに、当社が育成する交通規制のスペシャリスト「セイフティ・コントローラー (SC)」を各隊に配置することで、カーブが多い・路肩が狭いなど、高度な規制スキルが必要とされる高速道路から、交通量が多い国道・県道まで、現在まで豊富な規制実績を積み重ねられている。

今後は、これまで警備業として培ってきた高速道路や一般国道における交通規制業務のノウハウを武器に、日本の道路規制業界をリードする存在を目指している。新たに進出を予定している静岡県や長野県を始め、今後は東海3県から飛び出し、日本の道路の安全を守る「セイフ」ラインズのこれからの注目だ。

(名古屋支店調査第1部 大栗 稔也)

会社概要

セイフラインズ(株)

住所: 愛知県春日井市二子町 2-6-21

電話: 0568-32-8191

代表: 大山 祐一氏 (1973年生、愛知県出身)

業種: 交通規制業務

資本金: 500万円 設立: 1998年8月

年売上高: 約2億6700万円 (2020年3月期)

URL: <https://www.safelines.co.jp/>